



かみとんだ

第 129 号
2010.3

議会だより

「議会だより」は、上富田町のホームページに掲載しています。

平成20年度決算

一般会計・特別会計あわせて

歳入総額 92億5,939万2,150円

歳出総額 97億7,930万4,867円 を認定しました。



小学生による新春子ども議会が開催されました。

【1月9日（土曜日） 上富田町議会議場で】

12月議会で5議員が一般質問を行いました！

木村政子議員：☆エコストyle事業の継続に伴う広報について

☆車椅子の利用状況について

☆市民の住民運動に対する町長の姿勢について

大石哲雄議員：☆小中学校の体力及び学力向上について ☆いわゆる事業仕分けについて

山本明生議員：☆一般住宅の耐震の推進について ☆熊野古道の道案内標識について

沖田公子議員：☆こども医療費の助成事業について ☆違法薬物への対策強化について

☆有害鳥獣対策について

井潤 治議員：☆新政権と地方政治の方向について ☆地域医療の構築について

☆公共料金の負担増について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

会期（平成21年12月10日～18日） 9日間

町当局提案は40件 議会提案は意見書が2件

<一般会計補正予算第5号>…今回6億959万3千円を追加し
総額を58億2,760万1千円としました。

補正予算関係

12月
議会

◎総務費

- ・全国瞬時警報受信機購入費……………260万円
(政府が発信した緊急情報を受信する受信機の購入費)
- ・チャイルドシート購入費補助金……………40万円
(チャイルドシート購入費の2分の1を補助する。但し補助金の上限は10,000円)
申請等、詳しくは役場総務政策課へ
- ・賦課徴収費（税制改正システム委託料）……………300万円
(地方税法の改正により、町税の賦課徴収に係る電算システムを変更する費用)



◎民生費

- ・医療費（扶助費）……………3,693万5千円
(主に重度心身障害児（者）医療費、乳幼児医療費、ひとり親家庭医療費等の不足分)
- ・特別会計介護保険繰出金……………3,179万2千円
(介護保険サービス給付費、介護予防事業費等について、今年度の所要額がほぼ確定したので、不足分を追加措置し、介護保険の特別会計へ繰出する。)
- ・特別会計国民健康保険繰出金……………998万3千円
(特別会計国民健康保険事業の所要額がほぼ確定したので、不足分を一般会計から繰出する。)
- ・特別会計後期高齢者医療繰出金……………1,940万2千円
(特別会計後期高齢者医療の所要額がほぼ確定したので、不足分を一般会計から繰出する。)

◎衛生費

- ・公立紀南病院組合移築整備事業負担金……………3,985万5千円
(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町で組織する公立紀南病院の移築整備事業に伴う町負担金の追加措置をする。)

紀南病院（田辺市）
- ・上大中清掃施設組合負担金（クリーンセンター運営費等）……………5,904万1千円
(田辺市、上富田町で組織する組合への今年度負担金が確定したので追加措置する。)
- ・富田川衛生施設組合負担金（し尿処理施設の運営費等）……………1,422万円
(田辺市、白浜町、上富田町で組織する組合への今年度負担金が確定したので追加措置する。)

- ・新型インフルエンザ委託料と補助金 964万8千円
(新型インフルエンザの優先接種者(妊婦・基礎疾患者・幼児・学生、高齢者等)に伴う町負担金と補助金)

◎農林水産業費

- ・小規模土地改良事業(工事請負費) 463万3千円
(市ノ瀬根皆田地区排水路改修工事・生馬小西地区農道改修工事費)
- ・有害駆除捕獲補助金 36万円
(有害駆除捕獲の補助金 サル1頭 30,000円 アライグマ1匹 3,000円)
- ・山村のくらし支援整備事業補助金 166万4千円
(生馬地区全体が山村振興地域に指定されているために、地区内にある本郷町内会館の下水道つなぎ込み工事等に伴い、その費用について県が3分の1・町が3分の1 補助をする。)

◎土木費

- ・道路橋梁総務費(県営事業負担金) 566万円
(町内の県営で行う県道改良工事及び急傾斜地崩壊対策工事に伴う町負担金)

県道岩田保呂線改良工事
(生馬 山王地区)



- ・高速道路町関連施設事業物件調査業務委託料 400万円
(高速道路関連施設に伴う建物の調査費)
- ・公営住宅建設事業費(公有財産購入費) 1,710万円
(高速道路に伴う町営高雄住宅移転事業に伴い、特別会計宅地造成事業が保有している土地を住宅建設用地として、一般会計で購入し、その土地に建替えする。)

町営高雄住宅(4戸)が高速道路用地にかかるため、現在、朝来 町営飛曾川団地の隣に移転建築中です。



◎消防費

- ・常備消防費(消防事務業務委託料) 3,485万円
(田辺市への消防事務業務委託料について、本年度負担金がほぼ確定したので、不足分を追加措置)

◎教育費

- ・岡小学校整備事業費(屋内運動場建築に係る委託料・工事請負費他) 2億4,000万円
(岡小学校の耐震化に伴う体育館建築工事に係る設計監理委託料、建築工事請負、その他の費用)
- ・放課後児童対策費(工事請負費) 100万円
(朝来、あすなろ学童保育所の周辺整備工事請負費)

◎災害復旧費

- ・公共土木施設・農林水産施設の単独災害復旧費(工事請負費) 135万円
(台風18号により被害を受けた町道3件、河川1件、農道2件、水路1件に係る町単独災害応急復旧工事請負費)
- ・現年発生農業用施設災害復旧事業費(工事請負費) 577万5千円
(台風18号により被害を受けた農業用施設の溜池3件分に係る災害復旧費(補助事業))

条例関係等

◎職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

(国の人事院勧告に基づき、役場一般職員の給与、期末手当及び勤勉手当等を引き下げるもので、改正内容については、一般職員の給与月額を、初任給を中心とする若年層の職員を除き、平均0.2%引き下げ、また期末手当については、12月支給割合を0.1ヶ月、勤勉手当については、0.05ヶ月引き下げるものです。尚、特別職（町長、副町長、教育長）並びに議会議員の期末手当についても、条例で一般職の職員の支給条件に準じて支給するとなっていますので、今回の改正により、期末手当0.1ヶ月の減額となる。)

◎上富田町と田辺市との間における消防事務の委託に関する規約の一部を改正する規約に関する協議について

(平成22年4月1日に施行される和歌山県の事務処理の特例に関する法律に基づき、権限移譲される液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律、火薬類取締法及び高圧ガス保安法に基づく事務等について、田辺市に委託し、上富田消防署で処理する等、事務の効率化と住民サービスの向上を図るため、規約を改正するもの。)

◎田辺市、上富田町青少年補導センター協議会規約の変更に関する協議について

(青少年に対する相談業務等、誰もが気軽に利用できるよう、平成22年4月1日より、当協議会の名称を「田辺市、上富田町青少年補導センター協議会」から「田辺市、上富田町青少年センター協議会」に、また、当センターの名称「田辺青少年補導センター」から「田辺青少年センター」に変更するもの。)

工事請負契約関係

◎工事名……………平成21年度 公共下水道事業 朝来下水道管（19工区）布設工事
契約方法……………指名競争入札 （総合評価落札方式）による契約
契約額……………80,598,000円
契約相手……………和歌山市小松原通三丁目69番地
株式会社 淺川組 取締役社長 池内 茂雄

変更契約

◎工事名……………平成20年度 繼越第3号 小学校管理事業
生馬小学校屋内運動場耐震改修（建築）工事
契約額……………(変更後)54,946,500円 (変更前50,022,000円)
契約相手……………西牟婁郡上富田町生馬567-1
株式会社 後工務店 代表取締役 後 雅雄

耐震改修工事の完了した
生馬小学校の体育館



平成20年度 一般会計・特別会計 決算額認定

平成20年度の各会計の決算認定については、9月定例会後、閉会中に決算審査特別委員会において審査し、12月定例会に木村政子委員長から審査結果が報告され、その後採決を行い、16会計全て認定しました。(報告の内容を抜粋して掲載します。)

委員長報告では、一般会計の平成20年度決算収支は、歳入総額50億6,788万円、歳出総額49億7,757万5千円で、当年度の形式収支では、実質収支で6,792万3千円の黒字、また単年度収支についても389万4千円の黒字となっている。

厳しい財政事情が続く中で、行財政改革の効果が現れていると考えるが、今後においても、行政効果の検討や事務事業のさらなる見直しを行うことはもとより、施策の選択、再構築など、限られた財源を有効に活用され、強固で弾力的な財政体質を確立し、健康で明るい豊かな町づくりに向けて、なお一層の努力を望む。としています。

◎自主財源の状況（※地方公共団体が自主的に収入しうる財源の状況）

本年度の自主財源については20億4,899万1千円で、構成比では歳入総額の40.4%、前年度より877万6千円(0.4%)減となっている。

自主財源を確保し、歳入構成が安定的となるよう創意工夫が必要になると思われる所以、さらなる努力をされたい。

※自主財源の内訳

項目	金額
町税	14億8,531万円
分担金及び負担金	8,156万7千円
使用料及び手数料	7,300万2千円
財産収入	606万5千円
寄付金	643万2千円
繰入金	1億7,675万1千円
繰越金	1億753万2千円
諸収入	1億1,233万2千円
合計	20億4,899万1千円

◎投資的経費の状況（※道路、橋梁、学校、公共施設等、将来に残るものに支出した経費の状況）

平成20年度の投資的経費は6億898万5千円で、対前年度比では39.7%の減少、歳出全体の12.2%を占めている。

※本年度の主な投資的事業

事業名	事業費
公営住宅建設事業（前年度繰越分を含む）	2億1,078万9千円
朝来小学校グラウンド整備事業	6,833万1千円
あすなろ学童保育所建築事業	6,135万1千円
市ノ瀬橋改良事業（前年度繰越分を含む）	5,441万円
地籍調査事業	3,396万5千円
上富田地域交流センター建築事業	3,380万5千円
高速道路関連事業	1,820万円
県営改良工事負担金	1,468万円
道路橋梁維持補修事業	1,266万6千円
ソーラー街路灯設置（役場玄関前）	97万6千円
オストメイト対応トイレ整備（文化会館へ）	82万9千円
災害復旧事業	6,038万3千円

平成20年度の主な投資的事業



公営住宅建設事業 老朽化した生馬地区の町営鳥渕住宅が白滝住宅として建替え移転



朝来小学校グラウンド整備事業



あすなろ学童保育所建築事業 (朝来小学校隣)



上富田地域交流センター建築事業 (上富田スポーツセンター隣)



LED 照明街灯設置(役場玄関横に設置)
役場前の道路が暗いため、LED 照明の街灯を 2 基設置する。



オストメイト対応トイレの整備
(上富田文化会館 1 階の障害者用トイレに)
人工肛門・人工膀胱造設者のための設備で
朝来駅にも設置している。



地籍調査事業 20 年度末の進捗率 約 31 %
(写真は岩田地区で)



災害復旧事業 町道王子谷線道路災害復旧工事
地すべりによる復旧 (岩田地区)

◎経常収支比率の状況

(※財政構造の弾力性を判断する指標で、比率が高いほど弾力性が少ないことを示すもので、人件費・扶助費・公債費等の経常的経費に、地方税・普通交付税等を中心とする経常的一般財源がどの程度充当されているかを表す比率です。)

本年度の経常収支比率は 94.4 % で、前年度に比べ 0.1 % 減となっている。

今後も経常経費の抑制に留意し一層財政構造の弾力性の確保に努められたい。

経常経費充当一般財源と経常収支比率の過去 3 年間の推移

年 度	経常経費充当一般財源	経常収支比率
平成 20 年度	31 億 8,563 万 3 千円	94.4 %
平成 19 年度	31 億 3,439 万 4 千円	94.5 %
平成 18 年度	30 億 1,441 万 5 千円	89.6 %

※経常的経費とは、人件費や公債費（地方公共団体が借り入れた地方債の元金、利子の償還金）等、毎年度継続的に支出が求められる経費（投資的経費は除く。）です。

◎公債費の状況

(地方公共団体が借り入れた地方債の元金、利子の償還金及び一時借入金利子の合計額をいう。公債費は義務的経費の一つであり、町の歳入の減少に関係なく、支出しなければならない。これが歳出中の比重を高めることは、財政の硬直化を招くことになる。)

平成20年度一般会計の元利償還金支払額は7億5,799万1千円

町債の20年度末現在高は62億2,923万1千円で、前年度末の現在高より2億5,670万6千円の減となっており、実質公債費比率は19.5%です。

全会計での公債費の20年度末現在高は124億9,125万7千円、町民1人当たりにすると、約81万8千円の借入となっています。(昨年度末では約85万円)

実質公債費比率が高いほど、財政の硬直化が進んでいることを示すことになり、今後なお一層、公債費比率の適正化を図り、財政の健全化に努力されたい。

平成20年度 一般会計・特別会計決算額

(単位：円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引	翌年度 繰越額	実質収支
一般会計	5,067,879,754	4,977,575,406	90,304,348	22,382,000	67,922,348
国民健康保険事業	1,709,369,272	1,709,347,952	21,320	0	21,320
老人保健	124,261,073	124,254,593	6,480	0	6,480
町営砂利採取碎石事業	59,846,108	59,686,705	159,403	0	159,403
宅地造成事業	80,499,260	560,802,868	-480,303,608	0	-480,303,608
共同汚水処理施設事業	13,262,347	12,464,987	797,360	0	797,360
宅地取得資金貸付事業	6,598,566	10,573,004	-3,974,438	0	-3,974,438
住宅新築資金貸付事業	22,031,688	67,688,264	-45,656,576	0	-45,656,576
奨学事業	5,563,628	5,525,570	38,058	0	38,058
農業集落排水事業	188,815,426	188,815,426	0	0	0
公共下水道事業	314,546,081	311,276,660	3,269,421	2,881,000	388,421
介護保険	987,432,345	986,867,917	564,428	0	564,428
後期高齢者医療	179,911,568	178,762,430	1,149,138	0	1,149,138
朝来財産区	6,876,139	6,855,129	21,010	0	21,010
西牟婁郡公平委員会	1,379,176	1,280,300	98,876	0	98,876
水道事業	収益的事業	462,867,959	394,040,208	68,827,751	0
	資本的事業	28,251,760	183,487,448	-155,235,688	0
合計	9,259,392,150	9,779,304,867	-509,912,717	25,263,000	-545,175,717

一般質問

木村 政子議員

①エコスタイル事業の継続に伴う広報について ②車椅子の利用状況について
③町民の住民運動に対する町長の姿勢について

ここが聞きたい!

平成21年12月定例会の一般質問は、日程2日目の12月15日に行われ、5議員が登壇し、当局の考え方を質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。



①エコスタイル事業の継続に伴う広報について

質問 協働事業の終了にあたり、町民の環境に対する意識をレベルアップする必要がある。

町長 工コスタイル事業については成果が出ているし、リサイクルの気運も高まっている。事業を発展させて普及に努めた。居民は「広報かみとん」に関心を持つてくれているので、来年度の新しい拠点が決まれば、どういう運営方法をするか、

②車椅子の利用状況について

質問 本庁に3台の設備があるが、利用状況はどうか。

総務政策課企画員 自分の車椅子をお持ちの方が多く、備え付けの利用頻度は年に二、三度だが、秋の衆院選の期日前投票の際に社会福祉協議会から2台借りている。



役場玄関に備えている来庁者用の車イス

③町民の住民運動に対する町長の姿勢について

質問 (1) 町営住宅跡地に建設反対の方が陳情書提出の際の事の経緯はどうか。

町長 小集落地区改良住宅は公営住宅で、大谷区には5つの団地があり、絡み合せもある。要望されている。

(2) 跡地についての危険の認識が県と町で喰い違うのは何故かという疑問が住民から出されている。この点はどうか。



質問 我々の意見も理解していただけるのなら、今後とも発言について、気をつける。

いでの移転の決定をした。町内会からの現集落の上側へ移りたいという要望は急傾斜の指定地なので出来ないと説明した。陳情書には問題点や認識違いがある。

大谷区は区のルールをもって体制の中でやっている。

大石哲雄議員

①小中学校の体力及び学力向上について
②いわゆる事業仕分けについて



質問 町内小中学校生の体力及び学力向上についての取り組みはどうか。

教育長 体力については、平成20年度に実施した握力、上体起こしや持久走、立ち巾跳び等々8種類の男女平均は、県下30市町村の中、小学校は24番目、中学校では11番目という結果で、当町のレベルは、

①小中学校の体力及び学力向上について
②生活アンケートを行い、保護者と共に考えることで、体力向上の取り組みはどのようにして行われています。

①参観日に食育の授業を行い、保護者と共に考えることで、体力向上の取り組みはどうか。



小学校では体力向上のために、縄跳び等も行っています。
(朝来小学校で)

③食育の授業内容を、家庭の話題にできるようには、町民の皆さんに理解を得られるようなるを予算計上し、議論しているが、今的大きな事があります。又、

②生活アンケートをとり保護者に知らせ、意識喚起を図っています。

①参観日に食育の授業を行って、保護者と共に考えることで、体力向上の取り組みはどうか。

①小中学校の体力及び学力向上について

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

工具の活用等、また、水泳や陸上競技の各種記録会へ積極的に参加させ、全職員が練習に係り、技術や体力向上を図っています。

ラブに入つていない生徒も含めた体力向上施策は、小学校では体育集会として始業前に全児童を対象として、縄跳び、ランニング、遊具の活用等、また、水泳や陸上競技の各種記録会へ積極的に参加させ、全職員が練習に係り、技術や体力向上を図っています。

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、

中学校では98%の生徒が運動クラブの部活動に在籍し、毎日の練習により、技術、体育の向上精神力の向上をさせています。また、家庭との連携については、



平成22年度予算編成協議のようす（役場で）

山本明生議員

- ①一般住宅の耐震化の推進について
②熊野古道の道案内標識について



①一般住宅の耐震化の推進について

質問 東海地震や、東南海地震の発生がいわれていますが、いかはわかりません。しかしながら発生する事は間違いないといわれています。

本年8月に発生した駿河湾地震は震度が大きかった割には被害が小さく、住民の防災意識の高さが減災につながつたと新聞にも載っていました。

上富田町の公共施設

については当局が積極的に取り組んでいただき、万一の時でも安心できる方向に進んでいくと思うが、一般住宅はどうか。

耐震基準を満たした住宅が多いようにも見えますが、我が上富田町の耐震診断の動きはどうか。

また、それに伴う固定資産税の減免や公的助成制度の現状は。

町長 先日、岩手、宮城内陸地震跡を視察してきました。南海地震の周期は100年から150年といわれています。

岩手、宮城地震は、内陸ではなく沖で、30年に一遍くらい大地震がおこっているという事で、住民も危険性を把握し建物も耐震を考えて建てているとのことです。

この間の内陸地震では栗原市や、一関市は震源地に近いですが、市街地は被害がなかつたようなのです。

お聞きしたら、住民が危険性に対しても自分

つ、この事を啓発活動する必要性があるのでありました。

②熊野古道の道案内標識について

産業建設課長 昭和56年以前に建てられた木造住宅に対して、耐震診断や耐震改修に対する補助制度が行われています。

耐震診断につきましては、国2分の1、県4分の1、町4分の1で個人負担はありません。

改修につきましては、90万円を上限として県と町あわせて3分の2で、イコール60万円の補助があります。

質問 南紀熊野体験博の時に設置した標識は残っていますが、古くなり、わかりづらくなっていますし、現況にそぐわない標識も見られます。

今回、八上神社近くにトイレを建設中で大変喜んでいるわけですが、なお多くの人々に有効利用してもらうために、トイレの案内も含めた標識の設置を望みます。

税務課長 固定資産税の減免については国の制度で、昭和57年1月1日以前の住宅で現行の耐震基準に適合する改修であり、その費用が一戸当たり30万円以上で、平成27年12月31日までに耐震改修が完了した場合で120平米までは、来年から2年間の固定資産税が2分の1に軽減されます。

総務政策課企画員 南紀熊野体験博の開催に合わせて取りつけた案内標識については、老朽したものから随時、観光協会の協力を得ながら取り替えています

が、経費もかかることがもあり、すべて改修できない状況です。

今後、経費のかさむ改修工事や岡地区の公衆トイレの標識板の設置工事につきましては、県の観光整備補助金などの活用を前提としながら、町の財政の許す範囲で検討したいと考えています。



ほぼ完成した八上神社（八上王子跡）近くに建築中の公衆トイレ（岡地区）

沖田公子議員

- ①こども医療費の助成事業について
- ②違法薬物への対策強化について
- ③有害鳥獣対策について

町長 私の考えですが、子育て支援の中では、やはりこういう政策も必要かなと思っています。

我々も今後研究して、財政が許す時期が来たらさせていただくということでお願いしたい。



①こども医療費の助成事業について

事業について

質問 本年10月22日に産業民生常任委員会の視察で、東京都西多摩郡日の出町へ行つてきました。

日の出町では、ゼロ歳から15歳の児童に要した医療費をその世帯に支援し無料化を実施しています。こども医療費の無料化は、県下でも対象年齢を上げています。

上富田町でも対象年齢を引き上げていただきたい。

教育委員会生涯学習課長
今後のキャラバンカー

①薬物乱用防止キャラバンカーによる啓発活動。
②薬物乱用防止教室の開催。

そこで薬物汚染の対策強化のために次の2点を提案します。

③有害鳥獣対策について

質問 野生鳥獣の生息分

布の拡大や生息数の急激な増加に伴い、鳥獣による被害が深刻化しております。

農家の生産意欲が低下し、暮らしが脅かされる状況にあります。

鳥獣による被害を防止

の利用については、学校や補導センター、関係機関等と協議しまして検討していきたい。
薬物乱用防止教室は、田辺市と上富田町で設置をしています。
管内の小中高校を中心に、薬物乱用防止啓発活動の一環として実施しています。
また、田辺保健所では薬物乱用防止に向けた協議会を警察、保護司、薬剤師、薬種商、行政等で設置しており、研修会を開催するとともに、年2回チラシ等の配布による街頭啓発を行っています。
今後も補導センターや警察、学校等と連携を密にしながら薬物乱用防止に関する正しい知識を効果的に啓発するよう取り組みます。

産業建設課企画員 狩猟免許の取得促進について

は基本的に、地域協議会を設立し、その後に町からも3分の1、生産販売の委員会から3分の1、個人負担は3分の1程度で今、話を持っています。

わな等の設置事業については、これは個人で取得できませんので獵友会という形の中で行っています。
イノシシ用の箱わなは、現物が大きいので、今は据えつけという形でしています。
もう一つ農作物の鳥獣害の防止対策として、防除計画を平成22年度中で計画をするということことで、今進めています。



鳥獣対策のため、進入防護策を設置した畠 生馬地区で



設置しているイノシシ用の箱わな 岩田地区で

井潤治議員

- ①新政権と地方政治の方向について
- ②地域医療の構築について
- ③公共料金の負担増について



①新政権と地方政治の方向について

質問 8月の衆院選挙で国民の審判は、自・公政権に別れを告げ、民主党連立政権が誕生しました。町長、今回の選挙で非常に積極的に自民党、公明党支持をやつた。役場の駐車場から選挙車からマイクを通じて職員に対し「あえて私が言うのは職員に知らしめるためや。役場の仕事は自民と公明で成り立っているのだ」と。その後選挙区候補の名前と政党では自民と連立の党名をあげま

した。今回の選挙ではこの立場で選挙をしました。新政権をどうとらえるか、地方政治がどうなるか、考えを聞きたいため、残念ながら日本国民は民主党を選びました。結果、マニフェストの実効性から言うと財政が追いついていかない。現在四苦八苦している状況と自公を応援し役場の前でも演説をしています。町益がどちらにあるか、私が今のマニフェストを重視するならば実際町益になるようなことがあるのか、ないのか疑問視しております。陳情の仕方は変わらぬまま陳情していく。

町長 残念ながら日本国民は民主党を選びました。結果、マニフェストの実効性から言うと財政が追いついていかない。現在四苦八苦している状況と自公を応援し役場の前でも演説をしています。町益がどちらにあるか、私が今のマニフェストを重視するならば実際町益になるようなことがあるのか、ないのか疑問視しております。陳情の仕方は変わらぬまま陳情していく。

②地域医療の構築について

質問 政権は民主党に変わったが、誕生後国民世論では国民に不安が出ています。その不安は自民・公明政治の悪弊をきちんと整理して国民の立場でやつてくれるかどうかが、どうもややしいぞ、と言うものです。実現が不透明だと言ることは、今地方から要求していかないと地方自治体自身が大変なところへ追いこまれる。相当運動しないといけないのである。●三位一体の改革で削られた地方交付税を元へもどす問題（平成

12年を基準に8年間で43億4,000万円の削減●地方債が126億6,000万円もある問題●保育所運営費への国負担金ゼロを元へもどす問題●後期高齢者医療制度の廃止問題●障害者自立支援法の応益負担の廃止問題●日本の米と農業つぶすFTA（自由貿易協定）問題●労働者派遣法の改正問題らがあります。民主党政権はそう簡単にぶれるとは思わない。それによつて地方自治体の政治は流れていく。首長会で運動していくことが大事でないか。

町長 10月に入つて全国町村会からアンケートが来て民主党のマニフェストに対する考え方を示してほしい、と言つて来ました。一例ですが農業の戸別補償制度を言わせていますが、米が主体と受けています。上富田町の場合、ミカン、梅に対しううう方策を取るか示してほしい、という意見をして

質問 田辺、西牟婁地方には二つの公立病院（紀南病院、南和歌山医療センター）がある。紀南病院は自公政権の医療政策のもとで2008年10月にRFO（年金、健康保険福祉施設整理機構）に移り、2009年10月にはRFOからどこかへ売り渡されるか、放り出されれる、かだつのが新政権では厚労相の方針で地域医療推進機構（仮称）へ移し、公立を守るとし

管理者組合は●組合に委託してもらう。本当に無償譲渡を求める。本当に無償譲渡されるのかーの方針のようですがそう簡単に委託とか、無償譲渡されるのか、その病院を所得補償は納得できるものせよ●自給率向上と協議の場を早期に法制化せよ●子ども手当は全額国庫負担とせよ●戸別負担増をしなくてもやつていける方向への転換がないのか、統廃合はないのか。独立行政法人に対する新政府の方針は

町長 質問のように機構は来年中に解散されます。今の政権の中で解散する方針が持続された時に県にあるか構成団体の市町村になるか、それはわかりません。公立で今後とも運営できることに移管されるのであれば、多少の負担はあっても、移管を受ける。公立で移管を受ける格好で協議に応じたい。南和歌山医療センターも地域に協力的で紀南病院との連携している実情です。

質問 公共料金の負担増について

町長 保育所は保育料以外は町単独費用負担です。三位一体の改革で大きな打撃を受けています。平成22年度国基準が変わらなければ町もそのまま行きたいと思います。国保は国保税と医療費の差が相当大きくなっています。平成22年も改正させていただかなならん。後期高齢者、介護保険ら会計を見てどこに原因があるか調べた中で考えが残念ながら改正をさせていただくことでご理解をいただきたい。

■独立行政法人、南和歌山医療センターが独立していけるのか、統廃合はないのか。独立行政法人に対する新政府の方針は不明瞭です。いろんな見直しが始まるのではないか。病院の存在がどうなるかについてどう把握されているか。こう言う議論の場、全國町村会で活動させていただく。

意見書

12月定例会で意見書2件が提出され、いずれも可決後国に送付しました。

近畿自動車道紀勢線の事業促進を求める意見書

道路は、地域経済の活性化や住民の安全で安心な生活を確保するための最も身近で重要な社会資本である。

半島地域に位置し、幹線道路ネットワークの整備が著しく立ち遅れた和歌山県にとって、近畿自動車道紀勢線の早期南伸は、県民の長年の悲願ともいいうべきものであり、防災対策とともに企業立地や観光振興、農林水産業の振興などの観点からしても必要不可欠である。しかしながら、本県においても、とりわけ紀南地方における道路整備はまだまだ進展しておらず、このことが地域の活性化や地域住

民の生活環境の向上を阻害しているひとつ的原因となっているのが現状である。
近畿自動車道紀勢線事業については、平成18年2月7日に開催された国土開発幹線自動車道建設会議において、田辺～すさみ間の整備と県がそれぞれ建設費を負担する新直轄方式による整備区間に選定されたことに伴い、既に新直轄区間として選定されていた白浜～すさみ間（延長24km）と合わせて、田辺～すさみ間の38kmが、国土交通省の新直轄事業によつて施工されることが決定され、現在、用地買収等が順次進んでい

るのが実情である。
一方、本年度の補正予算において事業化が決定された御坊～南紀田辺間の4車線化事業について、地方の意見により、地方の意見を全く聞くことなく執行停止されたことは、4車線化の早期実現を

切望してきた本町にとって、憤りを禁じ得ないものがある。
民主党政権下においても、引き続き当初の整備方針どおり事業実施を図ることは、これまで早期整備の実現を熱望してきた当地方の民意を反映したものであり、政府・国会においては、責任ある措置を講じるよう、以下の事項について強く要請する。

記

①近畿自動車道紀勢線南紀田辺～すさみ間の早期完成に向け、当初の整備計画に基づいて事業の継続実施を図ること。
②近畿自動車道紀勢線御坊～南紀田辺間の4車線化事業の凍結を撤回し、速やかに事業着手すること。

また地球温暖化問題も解決が急がれます。ところが、日本の食料自給率はカロリーで41%に過ぎません。外國で生産された農林産物を、大量の燃料を使ってCO₂をはき出しながら運ぶことは、地球の温暖化対策にとっても有害です。

このような時に政府は、商社などと提携して外国で大豆やトウモロコシを生産し、日本に運ぶことを計画しています。国内生産の拡大を考えることこそ重要ではありますか。

以上の主旨から、政府におかれでは以下の事項を実現されること。①食料自給率を向上させるため、国内農林業生産を拡大すること。米はじめ農林水産物の生産費をまかなう価格保障・所得補償政策を実現すること。

委員会活動 レポート

12月議会に、総務教育常任委員会・産業民生常任委員会の所管事務調査（視察研修）報告書が提出されましたので、抜粋して掲載しています。

総務教育常任委員会

◇調査日及び内容

平成21年7月22日～24日

① 東京都 豊島区

※放課後児童対策事業
「子どもスキップ」の取り組みについて

② 千葉県 我孫子市

（あびこし）

※提案型公共サービス民営化制度について

東京都豊島区は、全国平均や東京都より少子化の進行が早く、より深刻な問題となる中、子どもたちの視点に立った施策の展開、家庭での子育ての充実、学校等での生活の充実と各施設の有効活用等地域ぐるみで子どもたちの成長への関わりと子育て支援という理念から「豊島区子どもプラン（旧染井村）」が発祥地と言われており、区の木に指定されています。

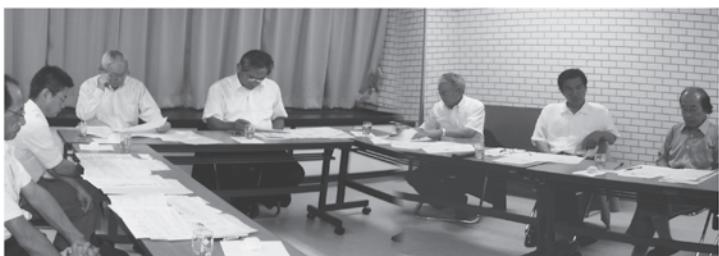
日本の国花である桜の代表品種、ソメイヨシノは、現在の豊島区駒込（旧染井村）が発祥地と云われています。日本は、豊島区が誕生しています。面積は、13.0km²、人口は約263,000人となっています。

東京都豊島区は、全国平均や東京都より少子化の進行が早く、より深刻な問題となる中、子どもたちの視点に立った施策の展開、家庭での子育ての充実、学校等での生活の充実と各施設の有効活用等地域ぐるみで子どもたちの成長への関わりと子育て支援という理念から「豊島区子どもプラン（旧染井村）」が発祥地と云われおり、区の木に指定されています。

なつて子どもたちを取り巻く社会環境作りに取り組んでいます。その中で、子どもたちの生活様式の多様化を反映した新しい活動場所として、「子どもスキップ」事業を開設して、異年齢の子どもたちの交流や安全で安心して過ごせる居場所作りを進めています。

今回、その取り組みについて視察調査を行いました。「豊島」という地名は、古くから記されており、万葉集の防人の歌の中に出ており、1972年10月、東京府豊島群の巣鴨町、西巣鴨町、高田町、長崎町の4町が合併、1947年の地方自治法施行により特別区としての豊島区が誕生しています。

豊島区の子ども施策に関する取り組みの根底は、「権利の主体としての子どもの視点に立った施設の展開」で、すべての子どもたちがいきいきと自分らしく育つ町づくりにあると思います。子どもスキップ事業にはその理念が活かされ、区内全域で展開しようとする取組に繋がっているのだと思います。少子化や児童虐待、非行の低年齢化などは豊島区だけの問題ではありませんが、子どもスキップの取組は、子どもたちを取り巻く社会環境の浄化や安全で安心して過ごせる居場所作りなどを積極的に行う事業として、非常に参考になりました。



千葉県 我孫子市役所で

千葉県我孫子市では、全国に先駆けてすでに事業化している「提案型公共サービス民営化制度」について、視察調査を行いました。この制度は、前市長が平成17年に実施を表明し、官と民とともに担う「新しい公共」造りとしてスタートしたものであります。この背景には、市の厳しい財政状況の中で、市役所のスリム化と公共サービスを豊かにすることを目指すとしたものです。

提案型公共サービス民営化制度とは、市が実施しているすべての事業を対象に企業、NPOや市民活動団体などから委託・民営化の提案を募集し、コストとサービスの質を総合的に審査した上で市が実施するより市民にとってプラスと判断したものについては、提案に基づき委託・民営化を進める制度です。

この事業を立ち上げて、市の業務のすべてを市民に知らせ市民からの提案を受けることは、まことに厳しくされています。しかし、財政運営を余儀なくされています。また、職員数が減少する一方で、権限移譲による事務事業の増加などが考えられ、事務の効率化、統廃合を検討つながり、また、市民の率直な提案（意見）を聞くことで、職員の意識改革にも大きく貢献しています。

また、公共事業を民営化するということは、法律的な問題のクリア、民営化後の行政の支援体制や予算、また民間の仕事をする「こと」にそぐわない事業などがあると思うが、我孫子市は14事業を採択し民営化して行政のスリム化、効率化を図っていました。

千葉県我孫子市は、千葉県の北西部に位置し、豊かな水と緑に恵まれ、都心から30km圏、常磐線で約35分という交通の便利さから、首都圏へ通勤する人々の住宅地として急速な社会増をもたらし、人口13万6千人余の住宅都市です。

上富田町では、平成16年に機構改革を行い、12課から5課に課の編成を行いグループ化を導入して、スリム化を実現しました。住民サービスの低下につながらない行政運営体制をとつてきましたが、国の三位一体の体制を導入して、スリム化を分かりやすくまた、スリム化、効率化を図っていました。

◇調査日及び内容

平成21年10月21日～23日

①埼玉県上尾市の農業生産法人株ナガホリ（民間）

※耕作放棄地を利用した農業再生の取り組みについて

②東京都 日の出町

※75歳以上の医療費無料化の取り組みについて

③東京都立川市の私立「ふじようちえん」

※保育所統合計画に伴う施設見学について

①農林水産業の関係として㈱ナガホリの農地の耕作放棄地を利用した取り組みについて視察調査を行いました。

農地は農業生産にとって最も基本的な資源であり、農地を利用した農業生産活動の維持は、水源かん養等、土地の保全に大きく貢献しています。

しかし現在の状況は、平坦地では住宅化による農地の減少、また、中山間地域では営農条件の不利や高齢化により農地管理の機能等が低下し、年々耕作放棄地が増えて

作放棄地は、病害虫の温床や、有害鳥獣の隠れ場所となり、近隣の農作物への被害や、地域全体の活力にも悪影響を与えることになり、全国各地においても、その抑制と解消に向けた取り組みを行っています。

今回訪問した㈱ナガホリは、この問題をビジネスチャンスに捉え、農業離れが進み耕作放棄地が増えゆく中で、荒地の開墾から農地管理までを自らが責任を持つて行い、「農地復元によって、様々な価値が生まれる」という独自のノウハウにより、行政との連携を進めながら、復元した土地に小松菜を栽培して生産規模を拡大する等、耕作放棄地を利用した都市近郊農業再生の取り組みを行っていました。

②医療・福祉関係として、その取り組みの先進地である東京都日の出町の視察を行いました。東京都の西部に位置する日の出町は、都心から西へ50kmの総面積2.8.08km²、人口16,368人（10月1日現在）、総面積の70%以上を山林

に覆われている自然豊かな町です。

同町は、平成20年4月から始まつた長寿医療制度（後期高齢者医療制度）に伴い、平成21年4月から全国の市町村に先駆け

て、75歳以上の方が負担する医療費の個人負担分を全額町が負担する等、「長寿対策、日本一お年寄りにやさしい町づくり」を宣言し推進している町です。

また、子育て支援事業の一つとして、ゼロ歳児から15歳までの医療費無料化も実施しています。

今回、その状況等について調査しました。

③現在我が町が検討中の保育所統合計画に伴い、東京都立川市にある、自然と一体化したユニークな園舎を2007年に建築した「ふじようちえん」を訪問し、施設の視察を行いました。

東京都立川市のJR立川駅からは車で約15分、周囲には特に大きなビルもなく、天気の時は、富士山も見える広陵とした位置にあり、新園舎が大きな話題になつた幼稚園で、幼稚園の施設（建物）

は、木や風や土や雨を身に感じ、共に育つ幼稚園として、2007年の春、リニューアル。（それまでは、築36年の木造園舎だった。）

○園舎の主な特徴
・広い園庭をぐるりと囲むように建てられたドーナツのような楕円形園舎。

・水道は、全部手回し式の蛇口で、出しすぎれば水が飛び散つて自分がぬれ、また蛇口をしつかり閉めなければ、水が出しつぱなしになり、もつた

大きな木は園舎の中を突き抜け、また土などの自然を活かし、太陽や風、雨などの自然を身近に感じる園舎。

・園舎 자체が巨大なワンルームという大変ユニークな形になつており、円形なので自分がいるところが、いつも真ん中という発想で、各保育室は、木箱型のロッカーカーを利用した間仕切りで、職員室もオーブンとなつてゐる。また、どこからでも、それぞの動きが見渡せる。

・引き違いの戸も多く、寒ければ戸をきちんと閉めることができます。各部屋の照明は、長い

園児が自分でヒモを引き、点けたり消したりでき、それは現在のリモコンスイッチでは分からぬ電気の仕組みと、便利さよりも、その行動でしつけ、くせづけに繋げている。

・水道は、全部手回し式の蛇口で、出しすぎれば

水が飛び散つて自分がぬれ、また蛇口をしつかり閉めなければ、水が出しつぱなしになり、もつた

いないということが分かるようになります。

※現在、施設（園舎）の建築にあたつては、自動ドアやエアコン、リモコン式の照明等、最新の設備機器を多く用意して、

立派な建物をつくろうとしているが、「ふじようちえん」は、あえて不便さを考え、それは大人からみれば不便な点があるかもしれないが、その不

便さが子どもたちに考える力、工夫を引き出すもので、つくりすぎないと

いう姿勢で造つた建物には、大人の想像が及ばないところで、子どもの力を自然と引き出す余地があり

くるのではないかといふ園長の考えでした。

編集後記

議会だよりをお届けします。今回は12月定例会で審議した一般会計補正予算等の主な内容、平成20年度の決算認定、議員の一般質問の内容を掲載しています。

議会広報については、写真等を用いて、できるだけ住民の皆さんにわかりやすく、読みやすいように努力しています。ご意見、ご感想をお寄せください。



ふじようちえん 楕円形の園舎と園庭（屋上も広場に）